

看護部通信

2015. 1. 1発行 第43号

#IOSPY

ホスピーグループ腎透析事業部看護部



新年のご挨拶

《2015年度のキーワード》

- ① **いのちのケア**: 患者・家族のサポートとケアはもちろんのこと、看護師やケアスタッフのサポートとケアにも力をいれる。
- ② **新たなつながり**: グループ内・外で医療・介護・福祉の連携を構築する。
- ③ **看護実践知**: サイコネフロジー看護の充実、実践に役立つセルフケア支援、家族看護・支援、穿刺の技術向上など、看護実践知を活かしあう。



腎透析事業部
統括看護部長
岡山ミサ子

あけましておめでとうございます。昨年は新生会第一病院では病院機能評価の受審準備、サテライトでは院外処方化やオーダーリング導入とめまぐるしく変化した年でした。そのような中でも嬉しいことは、多く新入職者が仲間入りして共に看護できたことです。今年もよろしくお願ひします。



新生会第一病院
看護部長
宮下美子

新年あけましておめでとうございます。昨年新生会第一病院は、3F病棟は地域包括ケア病室を11床作り、2F病棟は在宅復帰機能強化型に変化をしました。今後医療介護福祉をとりまく社会の変化に合わせてグループとしてチーム医療を充実させ、看護師としてできることを共に考えて実践していきます。

伝えたいスタッフへの熱き想い



外来・在宅教育センター師長 澤村美海

スタッフのみなさんのチームワークの良さと、その生活している人間(ひと)をみてケアする姿に感銘しています。これからも一緒に看護をもっと深めていけたらと思っています。



金山クリニック師長 山内 要

昨年の12月から師長に就任し、同時にオーダーリングも始まりました。グループも当院も刻々と変化しています。個々の得意分野や能力を大いに発揮し、チーム力を高めていきましょう。

3階病棟師長 松田はるみ



患者様一人一人を大切に個別性のある看護を提供することができています。患者様と話をしている姿は本当に嬉しく、涙が出る場面もあります。患者様思いのスタッフです。心から「ありがとう」

血液浄化センター師長 牛崎ルミ子



人間(ひと)の前に立ったとき、自分の喜びや快の刺激で心が動いたことを素直に表現できる自分を発見していきましょう。常に尊重できる関係を築けるようにしましょう。

2階病棟師長代理 今福節子



個性豊かな患者様を昼夜問わず懸命に対応しているスタッフに感謝しています。いつも、本当に、ありがとうございます。今後も笑顔で誠心誠意でケアをしていきましょう！



血液浄化センター師長代理 題佛真覚実

血液浄化センターの特徴は、臨時透析が多く、看護師が行う業務が多岐にわたることです。忙しく感じるかもしれませんが皆さんの力で支えているのです。その自負と自信を持って、腎不全看護を充実させましょう。



十全クリニック師長 片村幸代

自分を知って理解し、相手を知って理解し、そんな仲間がいる場所で目指す看護ができれば素晴らしいと思います。これからもよろしくお願いします！

平針記念クリニック師長 牧野範子



私は透析看護の魅力は、患者さん・家族と長年関わり同じ時間を共有し、慢性疾患の看護がチームでできる事と思っています。皆で学んでケアの引き出しを一杯にしましょう。

東海・東海知多クリニック師長 永尾洋子



透析看護に携わりもうすぐ27年になります。先輩や同僚に支えられ今の自分があると感じています。患者・家族の捉え方や接し方など学ぶ機会にも恵まれ、「看護は人である」の理念を持ち続けようと思っています。

鳴海クリニック師長 関川美知



童謡詩人 金子みすず『私と小鳥と鈴と』の中に、「みんなちがって みんないい」という詩があります。鳴海クリニック看護部は、30名一人ひとりに支えられています。「感謝」本当にこの言葉に尽きます。

—セルフケア基礎編受講生が作製した教材—

《食 事》



十全クリニック・有菌えりか
「カリウムについて」



平針記念クリニック・財前由美子
「食事を楽しく食べるために
カリウム編」



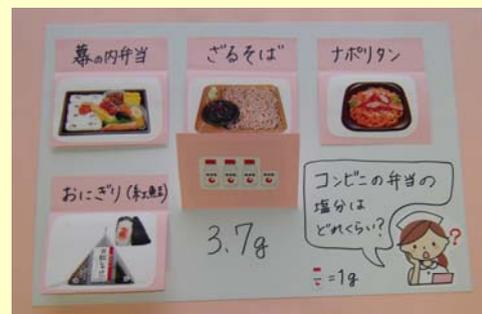
平針記念クリニック・森加朱巳
「カリウムの取り方の目安」



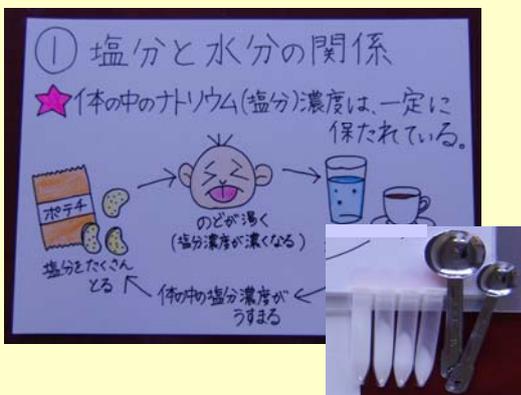
臨床栄養科・浅見静香
「リンについて知ろう!」



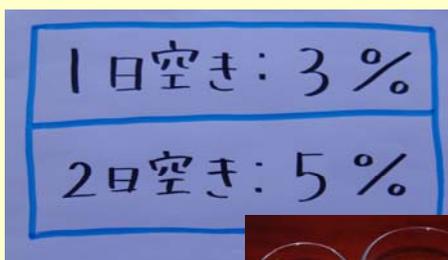
東海・東海知多クリニック・
岩本高美
「外食をするときは」



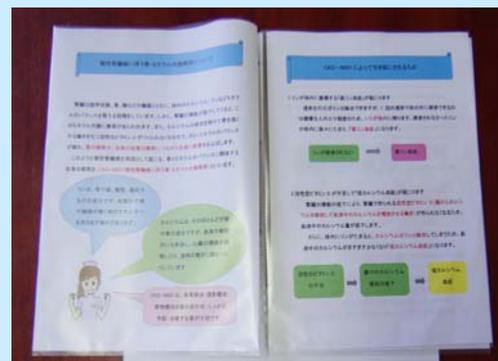
十全クリニック・内藤由佳
「体の中での塩と水の関係」



平針記念クリニック・鳥内直子
「塩分について」



3階病棟・川端 舞
「体重と水分」



金山クリニック・川端 ミキ
「透析とリンとカルシウムの関係」



金山クリニック・八木さやか
「心臓の負担を感じるモデル」

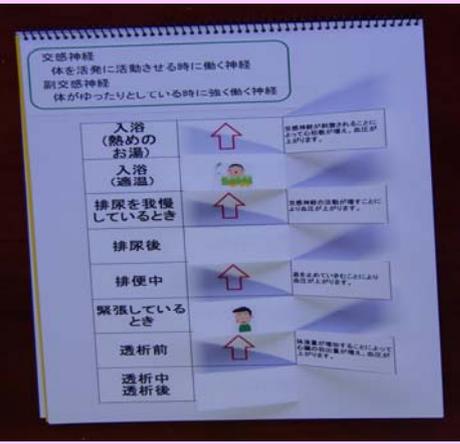
《合併症》



東海クリニック・横井有似
「風船でイメージする
体重増加と心不全の関係」



《自宅で行うケア》



金山クリニック・佐々木淳子
「血圧について」



鳴海クリニック・和田かおり
「ふだんのあなたの体重は？」



東海・東海知多クリニック・
牧野絵里子
「透析室での服を変更した
患者への説明」



平針記念クリニック・伊藤浩美
「血糖コントロールの大切さ」



金山クリニック・串田明子
「グラフトの模型」

受講生1人1人が個々の患者に合わせて、教材を工夫・作成し、実際患者に指導を行いました。どの作品も力作ばかりで感動しました。
企画者より

掲示板 “秋の防災訓練” の紹介

【金山クリニック防災委員 藤澤 京子】

- 《訓練日》 2014年10月22日・23日の2日間
- 《対象》 秋は職員のみ(春は患者と共に訓練)
- 《メインテーマ》 消火器体験とトリアージについて

消火器はどこ家庭にもあり、よく目にはするのですが、実際触ったことのないスタッフがほとんどで、「予想以上に重くて勢いに負けそう」「体験できて良かった」との声が多数聞かれました。



トリアージについては春の防災訓練の時、消防署の方が、「大地震が起きたとき、金山クリニックは近隣の方の避難場所になって欲しい」と言われました。そこで、トリアージ札を100枚ほど作成し、当院の高山副院長より例題を取り入れた講義を受けました。

トリアージという言葉をはじめて聞くスタッフも多く、「実際に使用するには勇気がいる」「感情に左右されないようになくては」等の声が聞かれました。



どちらもはじめての試みでとても好評な防災訓練でした。